

# SQC勉強会(0)改定版 (事前のご案内)

## 勉強会前のお願い

- ノートPCをご用意ください。
  - 利用するソフトウェアの事前インストールをお願いします。
    - 統計ソフト「R」と関連パッケージ
      - …毎回使います。(必須)
    - データ加工用ソフト「Pentaho」
      - …初回 +  $\alpha$ のみですので興味があったらご用意ください。
- (任意)

## Rのインストール (Windows)

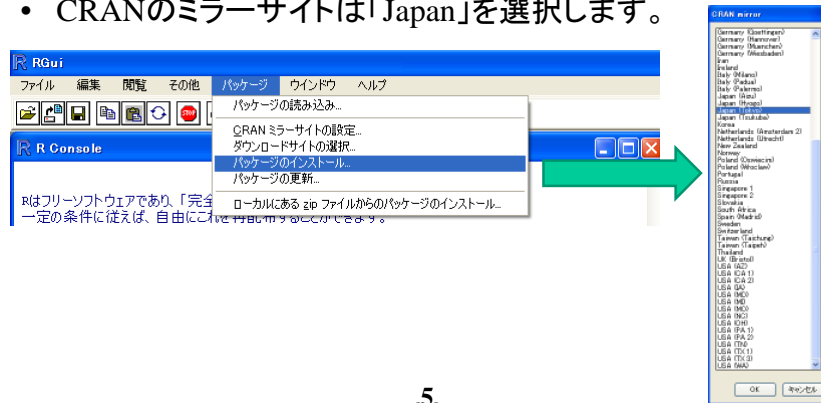
## Rのインストール

- Rのインストール
  - 以下のページからWindows版のインストーラ (exe形式)をダウンロードします。  
<http://cran.md.tsukuba.ac.jp/bin/windows/base/>
  - インストーラをダブルクリックし、Rのベースパッケージをインストールします。

## Rコマンドーのインストール(1)

2009年11月11日

- インストール後作成されたショートカット／プログラムフォルダ内の「Rgui.exe」をダブルクリックし、Rguiを起動します。
- 「パッケージ」⇒「パッケージのインストール」を選択します。
- CRANのミラーサイトは「Japan」を選択します。

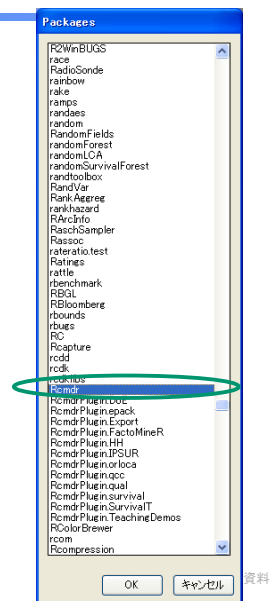


5.

## Rコマンドーのインストール(2)

2009年11月11日

- 「Packages」ウィンドウにインストール可能なパッケージが表示されますので「RCmdr」(Rコマンドーパッケージ)を選択します。
- 自動インストールが始まり、コマンドラインで正常終了の結果が出ればOKです。



6.

## RcmdrPlugin.Qctools (SQC用プラグイン)のインストール(1)

2009年11月11日

- RコマンドのSQC用プラグインは関西大学の荒木先生が開発された便利なツールです。
- 荒木先生のサイトからプラグイン「RcmdrPlugin.QCtools\_1.02.zip」をダウンロードします。

<http://www.ec.kansai-u.ac.jp/user/arakit/RcmdrPlugin.QCtools.html>

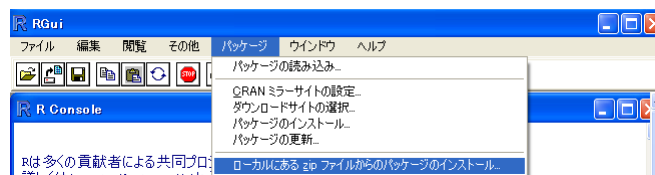


7.

## RcmdrPlugin.Qctools (SQC用プラグイン)のインストール(2)

2009年11月11日

- Rguiから「パッケージ」⇒「ローカルにあるZip...」を選択し、前頁でダウンロードしたZipファイルを取り込みます。



- 自動インストールが始まり、コマンドラインで正常終了の結果が出ればOKです。

QC勉強会資料

8.



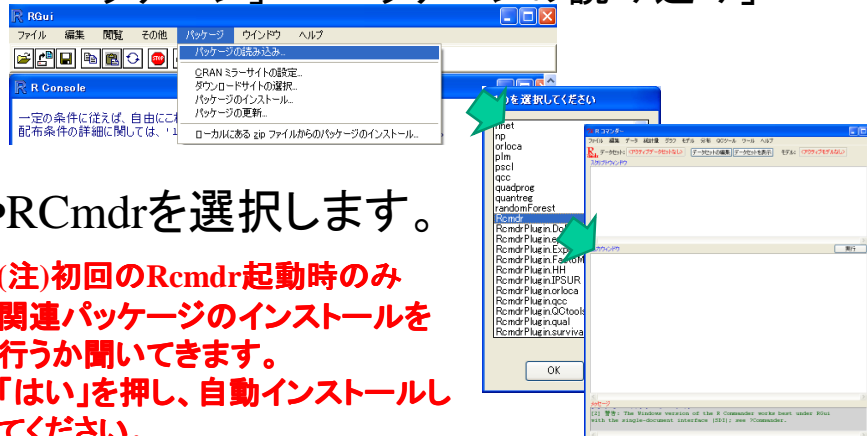
## Rコマンドーの起動確認

2009年11月11日

- 手動でRコマンドーを起動する場合は以下のとおりです。
- 「パッケージ」⇒「パッケージの読み込み」

- RCmdrを選択します。

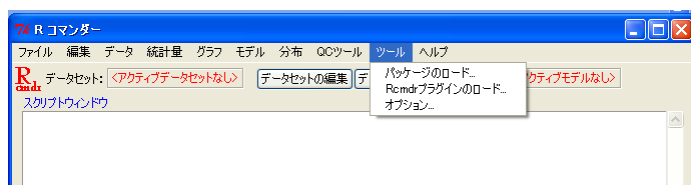
(注)初回のRcmdr起動時のみ  
関連パッケージのインストールを  
行うか聞いてきます。  
「はい」を押し、自動インストールし  
てください。



## SQCプラグインの起動確認

2009年11月11日

- 手動でSQCプラグインを起動する場合は以下のとおりです。
- Rコマンドーの「ツール」⇒「RCmdrプラグインのロード」
- 「RcmdrPlugin.Qctools」を選択します。



## Rのインストール(IM社内の人だけ)

2009年11月11日

- 面倒な人は、共用サーバ上のファイルをノートPCにコピーしてください。

[¥Uranus¥share¥R-2.9.2¥](#)

- レジストリ等の設定変更は必要ないため、フォルダ内の「Rgui.exe」のクリックで起動します。
- Rコマンダー、SQCプラグインも自動起動する設定にしてあります
- 借り物のノートPCの場合は、上記のR起動用フォルダをUSB(1GB以上のもの)にコピーして利用すると便利です

QC勉強会資料

2009年11月11日

## Rのインストール(Mac)

QC勉強会資料

## Rのインストール

2009年11月11日

- MacOSXをお使いの方は以下のサイトからベースパッケージをダウンロード、インストールしてください。

<http://cran.r-project.org/bin/macosx/>

- Rguiの起動はアプリケーション・フォルダのR.app をダブルクリックする(そうです)

## Rコマンドーのインストール

2009年11月11日

- 「パッケージとデータ」⇒「パッケージインストーラ」
- 「Rcmdr」を選択し⇒「インストール／アップデート」

※このときに関連するパッケージを同時インストールする設定にするようです。

- 手順の詳細は群大の青木先生の丁寧なページをどうぞ。

<http://aoki2.si.gunma-u.ac.jp/R/begin.html>

## SQCプラグインのインストール

2009年11月11日

- Windows版と同様に関西大荒木先生のページからZipファイルをダウンロードしてください。

<http://www.ec.kansai-u.ac.jp/user/arakit/RcmdrPlugin.QCtools.html>

- R.APPより「パッケージマネージャ」でインストールしてください。

- 多分これで大丈夫だと思います。

QC勉強会資料

## Zipがインストールできなかったときには

2009年11月11日

- ソースコード(\*.tar.gz)ファイルの再ビルドが必要です。

- 詳細はこの辺

<http://cran.r-project.org/bin/macosx/RMacOSX-FAQ.html#Installation-of-source-packages>

やこの辺

<http://cran.r-project.org/bin/macosx/RMacOSX-FAQ.html#Building-R-from-sources>

を参照してください。

QC勉強会資料

## (参考)Rについてもろもろ

2009年11月11日

- 最新のパッケージは「CRAN」にあります  
<http://cran.r-project.org/>
- お使いのプラットフォーム (Win/Mac/Linux) に合わせたプログラムをダウンロードし、インストールしてください。
- Rには強力なサポートサイト「Rwiki」があります。
- 不明点や疑問などがあつたらまずここで検索を  
<http://www.okada.jp.org/RWiki/>

## Pentahoのインストール

2009年11月11日

## Pentahoのインストール(1)

2009年11月11日

- 利用するモジュールはPentahoパッケージの中のDataIntegrationです。

以下のサイトから3.\*をダウンロードしてください。

<http://sourceforge.net/projects/pentaho/files/>

- PCにJavaの環境があれば解凍したフォルダにある「spoon.bat」をクリックすると起動します。(Windows版の場合。Macもほぼ同等のようです)

21.

QC勉強会資料

## Pentahoのインストール(2)

2009年11月11日



NoRepositoryで起動

22.

QC勉強会資料

## Pentahoのインストール(3)

2009年11月11日

- レポジトリを作ると、変換テンプレート等の管理が容易になります。
- レポジトリをMySQL DBに作成します。
- MySQLにPentaho用のDBとユーザを作成して下さい。
  - 例
    - データベース: kettle
    - ユーザ: spoon/spoon
    - データベースkettleに対する全権限をユーザ spoonに付与

QC勉強会資料

23.

## Pentahoのインストール(4)

2009年11月11日

- PCにJavaの環境があることを確かめて下さい。
- (1)でダウンロードしたファイルを解凍します。
- 解凍したフォルダにある「spoon.bat」をクリックすると起動します。

QC勉強会資料

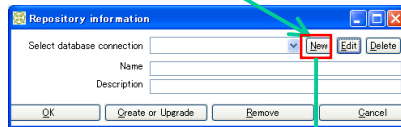
24.

## Pentahoのインストール(5)

2009年11月11日



- レポジトリを登録します。

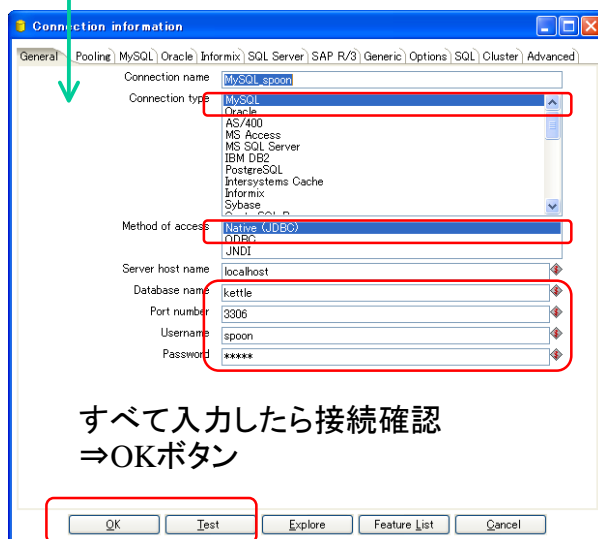


25.

QC勉強会資料

## Pentahoのインストール(6)

2009年11月11日



DBでMySQLを選択

ドライバはJDBC

(2)で作成したデータベースユーザパスワードを入力

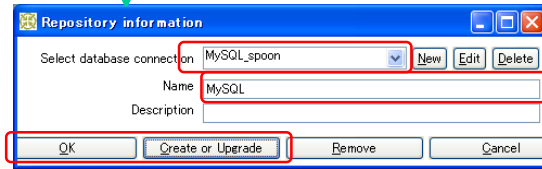
すべて入力したら接続確認  
⇒OKボタン

26.

QC勉強会資料

## Pentahoのインストール(7)

2009年11月11日



(5)で作ったコネクションを  
選択  
レポジトリの名前を設定

最後にレポジトリを作成  
⇒OKボタン

27.

QC勉強会資料

## Pentahoのインストール(8)

2009年11月11日



(6)で作成したレポジトリを選択  
デフォルトのユーザはadmin/adminです。

起動します。

28.

QC勉強会資料